
神の選択

螺威

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神の選択

【コード】

N8625C

【作者名】

螺威

【あらすじ】

過ちは誰か…とか言う話です…誰かが過ち、それを咎めますか？探すのか…みたいな感じですよ

人を見届けるは神

神を創るは人

けれど彼女は、

「見えますか？」

それを

「また、人が」

無視する。

「割れました」

「ごおっ、と吹く赤い砂塵の中で世界を見下ろす黒装束の彼女。

小柄な背中は端の地に腰掛け、片足は右腕を乗せ片足は宙の上。

長い赤紫の髪は一つに結ってあるが、余っている部分が所々砂塵と共に揺れる。

茶髪の彼は黙ってその背からの返答を待つ。

元々人を覽る為のその瞳には何の意味を持たせるか判らない。

「見えますか？」

風に舞う砂利の音と、無音の臭いが不愉快極まりない。

「見えるともさ」

不愉快極まりない世界で、楽しくて仕方がないと笑う。

くくつ、と小さく漏れるその音は果てた世界に不協和音。

なのに、妙にしっかりと溶ける。

人の業、人の因果、

縁、結び

「貴方の導きでしょうか？」

人が割れたのは

世界が果てたのは

殺風景な空

宿りのない大地

枯れた

かれた

カレタ

「貴女の、」

茶髪の彼の言葉は、風に消され、代わりに赤紫の彼女の笑い声。

果ての世界は彼女に味方する。

「私のせい、と言いたいか」

吹く風は更に強く

無意味な空は更に暗く

「愚の願い、朽ちた音、腐った縁、畏怖なるものを引き受けるは我が役目、我が因果………お前達がそう定めたのだろうか？」

違うか？と言う声は脳にしっかり刻んで

彼は黙り込む。それは肯定の証。

空気は乾く。

見る為の眼は、結局何も映さない。

それでも、この世界は

これでは人が、人の世は

神を創るは人

人なくして神に存在価値はない

「それでも、我が行いが異なるならば、人側の神」

お前達が、

「我を導くがいい」

スツ、と立ち上がりながら彼女は言う。

呪いの言葉を

唯一の糸を

無力な神に垂らす

「独りよがりには己が美德に酔いしれ、己が為にと誰かを愛す人側の神よ、」

行き場のない過ちはどこへやるのか？

せめてもの手向け、花をやるう

もう一度、

一度のみ

彼は目を細める。

それは圧力

全てを無に、

全てを踏み越えて

踏みにじる、存在

彼女は音もなく振り返る。

その際に、結っていた髪留めをとる。

「ざあ、と赤紫の髪が広がり

限らない威圧が一面に彩られる

これが、

「我が齒車を狂わせてみよ、

」

最凶の神

最弱の神は、最凶の神の最後の掠れた声を聞き取ることが出来なかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8625c/>

神の選択

2011年2月13日22時43分発行